

はくぶつかん

VOL2 NO4

1977、7、1 平塚市博物館

7月7日、七夕の晩にお天気がいいと、天の川にかささがしが橋を掛けて、天の川をはさんで東と西にいる、ヒコ星とオリ姫を会わせてくれると言われています。

この日、竹に短冊をつけて飾りますが、これは古くからのものではなくて、江戸時代の寺小屋の手習いの影響だと考えられています。

日本に中国から伝えられたのは奈良時代と言われていますが、その頃は上流社会のものでした。



今の七夕は、中国の星祭と庶民の間で行なわれた七夕行事が融合したものです。

ところで、平塚の七夕祭は有名で、きれいな飾りや屋台が並び人々でにぎわいます。しかし、その一方では夜空を見あげても、あわい光の天の川など見えません。天の川は見えないけれど、明るい星が一つ、2つ、……今年は特に明るい惑星がないので、一番明るいと思う頭上にある星がオリ姫星です。ヒコ星は東に輝く明るい星です。七夕の晩に七夕の星も見てみましょう。



夏期特別展示案内

家と村 — 金目川通り北金目村 —

私達が住む地域の最小単位は、かつて、村と呼ばれた地域でした。

この村は、江戸時代を境いに成立したと言われています。そしてこの村には、「百姓」と呼ばれた農民が、住み、それこそ合力で自分たちの生活を守り、田・畑とともに生きぬいた歴史を築き上げています。

そこで、今回の特別展では、こうした農民の姿にスポットをあて、その成立と変化さらには解体の過程、特に、北金目村に焦点をあてて、追ってみたいと思っています。そして、この特別展を「家と村」シリーズの第1回目の企画とします。



○期間 7月20日～8月30日

○会場 平塚市博物館 特別展示室

○特別展講演会

8月14日(日) 午後1時30分～3時

講師 福田アジオ先生(都留文科大学)

会場 1階講堂 入場自由

○展示解説書

1部200円 受付で発売

7月と8月の行事案内

9 (土)	古文書講読会	
10 (日)	自然観察会 ササゴイ(サギの一種)の巣や、川原の石の観察をします。	9時～15時 場所：厚木付近の相模川川原
20 (月)	「夏期特別展」 「家と村」ー金目通り北金目村ー	
21 (木)	星を見る会 はそい月の観察をします。	午後6時～8時 申し込み：7月11日までに往復ハガキで。 小学生以下は父兄同伴。30名。
23 (土)	古文書講読会	
26 (火)	星座早見をつくろう 星座早見をつくり、プラネタリウムでつかってみる。	午後1時～4時 場所：科学教室・プラネタリウム室 申し込み：7月16日までに往復ハガキで 多数の場合は抽選で40名。 材料費：100円
27 (水)	自由研究相談会 社会科関係(考古・歴史・民俗など) 夏休みの自由研究について、いろいろな質問を受ける日を作ります。テーマは決まったが、どうやって調べたらよいかわからないという方、御参加ください。	午前10時～午後3時(いつでも可) 場所：科学教室
28 29 3 (木・金・水)	自然観察入門講座 地質「貝化石を調べよう」	午前9時～午後3時 場所：大磯町虫窟・博物館など 申し込み：中学生以上、30名
30 (土)	体験学習シリーズ13 「骨格標本をつくろう」 魚の骨格標本をつくり、骨のしくみや役割を考えてみる。	場所：科学教室 申し込み：7月20日までに往復ハガキで。 小学4年以上。20名 教材費：200円

26 (土)	第1回デッサン教室 より深く美術を理解するために、デッサンを行なう。	午前10時～午後4時 申し込み：7月20日までに往復ハガキで。 中学生以上の一般、20名。 全期間出席される方優先。
9 11 19 (火・木・金)	自然観察入門講座 生物「つる植物の観察」	午前9時～午後3時 場所：吉沢方面、博物館など。 申し込み：小学5年以上、30名。
12 (金)	天文講演会 「星の一生」	午後2時～3時30分 場所：プラネタリウム室 申し込み：往復ハガキで、中学生以上、128人
13 (土)	古文書講読会	行事参加申し込みのハガキには住所・氏名・電話・職業を必ず書いてください。
14 (日)	特別展講演会 午後1時30分～3時 講師：福田アジオ先生(都留文科大学) 会場：講堂、入場自由	
20 (土)	自由研究相談会 理科関係(動植物、県内の地質など) 夏休みの自由研究について、質問を受ける日です。標本の名前がわからなくて困っている方など、御参加ください。	午前10時～午後3時(いつでも可) 場所：科学教室
23 (火)	星を見る会 双眼鏡や望遠鏡を使って二重星の観察をします。	午後6時～8時 申し込み：8月13日までに往復ハガキで。 小学生以下は父兄同伴、30名。
27 (土)	体験学習シリーズ14 「草木で染めよう」 身近な植物を使って小さな布を、いろいろな色に染めます。	午前10時～午後3時 場所：科学教室 申し込み：小学4年以上、30名。 教材費：200円

★プラネタリウム案内★★★★★

○話題

6月～7月17日 火星のナゾ

7月20日～8月(夏休み) 星と海

夏の宵、南の空には水平線の近くに星が大きな釣針のように並んでいます。南太平洋の島々では、この釣針が空にひつかかったように見えます。この島々の民族は、古くから星を航海に利用していました。

○観覧料 1人 100円

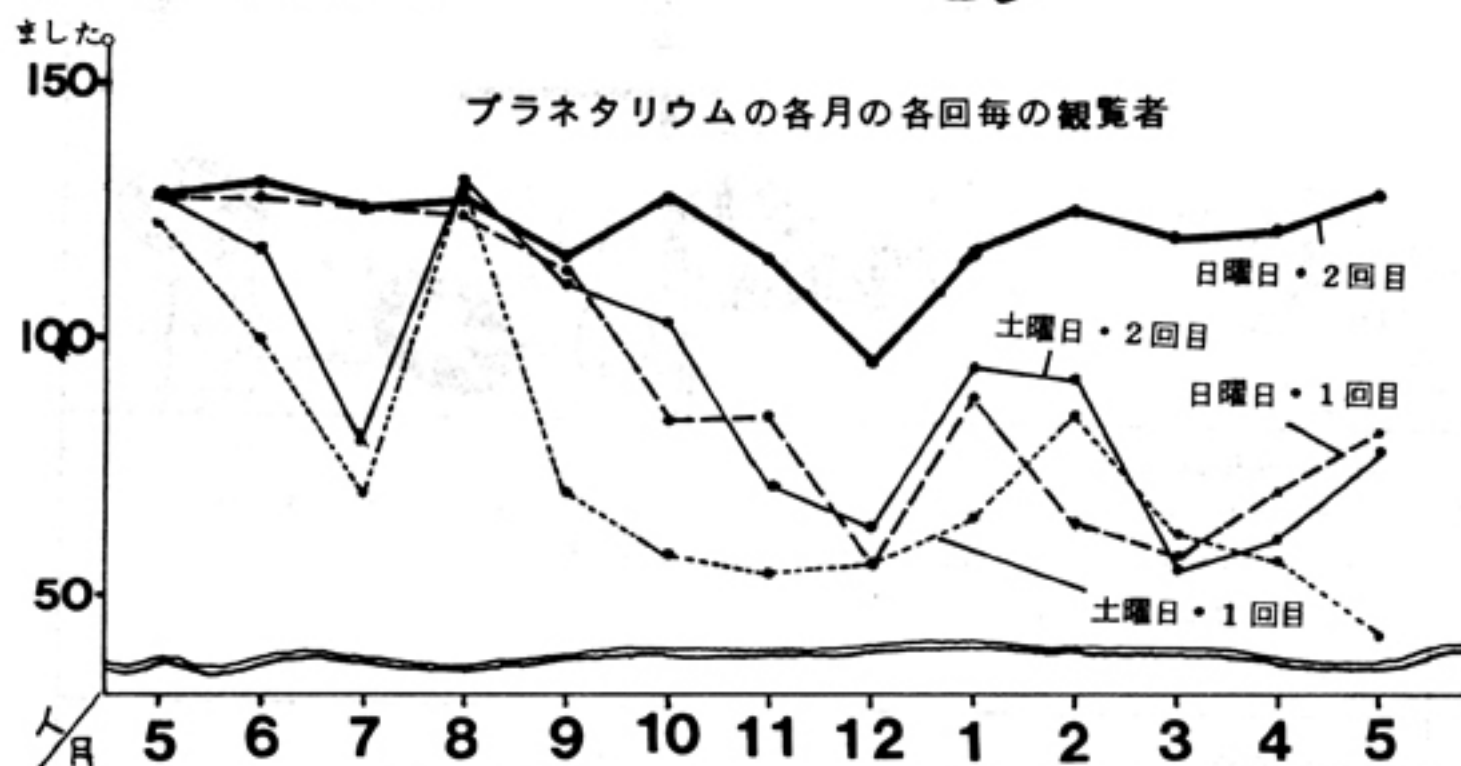
○所要時間 1回 45分

○定員 128人

○観覧券は、1人、1回、1枚しか発売しませんのでご注意ください。

○乳幼児はご遠慮ください。

一般投影は、土・日曜日に行なっていますが、今までの各月の平均観覧者を各回毎にグラフにしました。



このグラフを見ると、日曜日の2回目はいつも混んでいるけれど、土・日曜日の1回目はすいていることがわかります。また、8月、夏休みにはどの回も満員で、時間まぎわに切符を買いに来ても、売り切れてしまつて、見ることのできない人がいました。夏休み中、7月20日～8月末までは水・木曜日の2回目も一般用になりますが、切符はおはやめにお求めになつてください。

○観覧券の発売開始時刻と投影開始時刻

投影日		発売開始時刻	投影開始時刻
土曜日	1回目	12:00	13:40
	2回目	14:00	15:00
日曜日	1回目	9:00	10:30
	2回目	12:00	13:30
水・木	団体専用 夏休みには2回目が一般になります。 (12:00 14:00)		



はくぶつかん VOL2 NO4
 昭和52年7月1日 通巻15
 発行 平塚市博物館
 〒254 平塚市浅間町12-41
 TEL 0463-33-5111
 印刷 平塚市総務部行政課文書係
 ©1977